

特定医療法人五仁会 住吉川病院 (神戸市東灘区)

PACS導入による業務効率化で患者とのコミュニケーションを促進
トータル的な腎疾患医療の向上をめざす

透析患者は現在、全国に28万人も存在すると言われ、75歳以上の男性の100人に1人が透析患者というデータが示されている。年々増加傾向にあるなか、透析治療の提供はもとより、合併症の予防や治療など、専門医療機関に対する期待は高まる一方だ。全国でも珍しい入院病床を持つ透析医療機関として知られる住吉川病院(西岡正登理事長)では最新のPACSを導入し、ITを駆使した業務の効率化を通じて、人と人とのコミュニケーションを密にすることで、透析医療の質および患者のQOL向上につなげている。 撮影:木村哲也



川と緑に囲まれた抜群の療養環境を誇る住吉川病院

導入効果は体感150%
患者からも高い評価

腎臓疾患のトータル的な治療をめざし、1979年に開院した特定医療法人五仁会住吉川病院。慢性腎不全の血液浄化療法(血液透析・腹膜透析)を中心に、シャントトラブルや透析アミロイド症による根管管症候群、二次性副甲状腺機能亢進症といった外科的治療にも力を注いでいる。一般病床は41床で透析ベッド数は78床。入院病床を持つ透析専門施設は全国的に少ないなか、急性期病院での合併症治療後のケアや外来透析患者の急変時の入院対応などを通じて地域

医療を支えている。

「透析は20年、30年と治療期間が長い。必要となるX線フィルムは量や保管スペースは膨大な量になります。過去のフィルムの検索だけでも大きな負荷となりますが、今回、PACS(医用画像保管システム)導入によって、こうした課題を一挙に解決し、本来業務である医療サービスの向上をめざしました」と語るのは、瀬谷浩二院長だ。

同院が導入したのは、パナソニックメディカルソリューションズ株式会社のPACS「プリッシモ」シリーズだ。PACSとは、CR(コンピュータIX線写真)やエコーなど医療検査

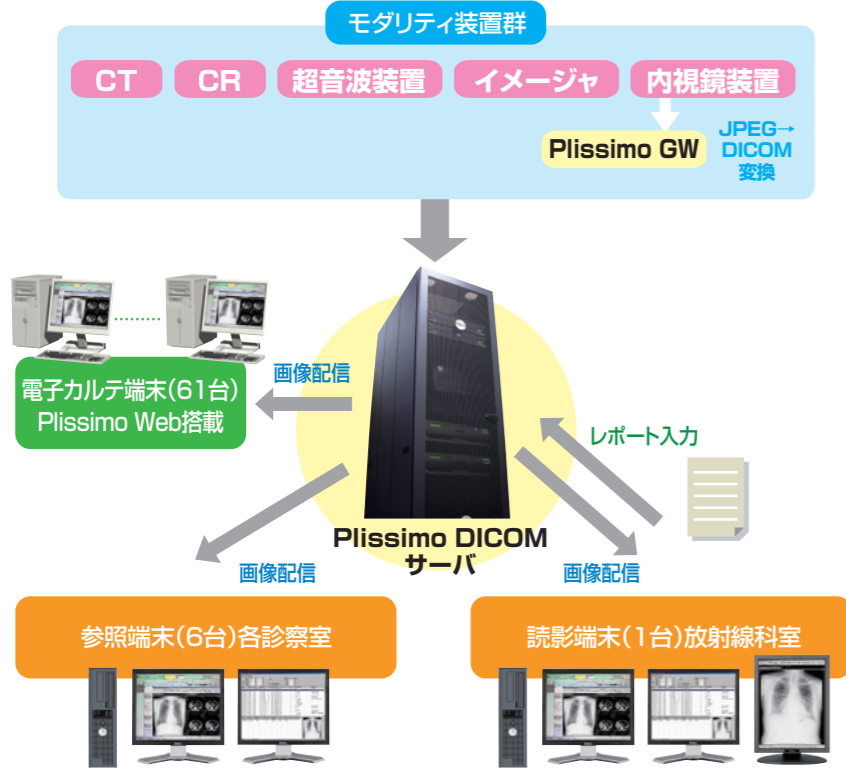
機器の画像をデータベースに保管し、必要な画像データを瞬時に診察室や透析室の端末で呼び出すことが可能なシステム。「プリッシモ」は、フィルムレス化を図るだけでなく、電子カルテや会計システムなどのHIS(病院情報システム)や、RIS(放射線科情報システム)と連携することで、さらに効率性の高い運用を可能としている。

「効率化」最大の目的は
全人医療の向上

「現場では急いでフィルムを探すシーンも多かった。PACS導入による業務の効率化は体感で150%ほど」と、瀬谷院長は期待以上の効果に手ごたえを感じている。導入効果は診察側の業務の効率化

同院ではオーダリングシステムと電子カルテ(端末61台)を導入しており、昨年12月、そこに追加する形でPACSを導入した。CTやCR、超音波装置、イメージャ、内視鏡装置などモダリティ機器の画像は「プリッシモ」で管理され、診察室の参照

特定医療法人五仁会 住吉川病院システム概要図



端末(6台)、放射線科室の読影端末(1台)で自由に画像を表示することができる。

数あるPACSのなかから「プリッシモ」を選んだ理由について瀬谷院長は、「二番は非常に優れたユーザーインターフェイスです。操作は日常業務の基本。マニュアルを見なくても直感的に使えるのが一番でしょ

う。その点、「プリッシモ」は操作性に優れ、コストパフォーマンスも高い」と絶賛する。

同院では、複数の企業によるデモンストレーションを受け、3カ月の選定期間を経て同製品の導入を決定。その後、院長、副院長、技師長がPACS導入の音頭をとり、各部門のヒアリングを行った。こうした

段階を踏んだため、意思伝達は早く、移行もスムーズに進んだという。「導入後のおつき合いも重要です。2年後の完全フィルムレス化に向け、パートナーとしてさらなるご協力を期待しています」と、瀬谷院長は同社に全幅の信頼を寄せている。

IT技術を駆使した効率化を追求する同院。意外にも、その視線の先にあるのは人間同士のコミュニケーションである。

瀬谷院長と協力しPACS導入を牽引した杉木雅彦副院長は、「業務の効率化そのものは目的ではありません。最大の目的は、専門職の時間的余裕を確保することで、患者さんと接する時間をより多くつくり出すことです。傾聴こそが全人医療の向上につながりますから」と言い切る。同



透析室に併設の診察スペースで患者に説明する杉木雅彦副院長。PACS導入で「胸部所見の経年変化など、よりわかりやすい説明ができる」と語る



診察室でPACSを操作し、画像を呼び出す瀬谷浩二院長。10年前の就任時から完全フィルムレス化を描いていたという

院では、サイコネフロジー(腎臓精神医学)に積極的に取り組むなど、患者のQOL向上に心を砕いている。「医療の核心は人と人とのつながりにほかなりません。これは患者さんだけでなく、病院と地域とのつながりも同様です。当院は、これまで30年以上、地域の皆さんに支えられてきました。これからは、腎臓病の健康教室や食事指導といった活動も視野に入れて、地域の皆さんに恩返しをしていきたい(瀬谷院長)

企業DATA
 ■商品に関する問い合わせ
**パナソニック
 メディカルソリューションズ株式会社**
 〒571-8504 大阪府門真市松生町1-15
 TEL:06-6905-4161
<http://panasonic.co.jp/psec/pmsc/>